

令和元年度

第34回福島県特別支援教育センター研究発表会

(二次案内)

主題「共に学び、共に生きる社会の形成に向けて」

～学びの連続性や切れ目のない支援体制の充実～

時下、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本センターでは、関係諸機関の皆様の御理解と御協力により、開所以来34回目となる研究発表会を開催することとなりました。

つきましては、多くの皆様の御参加を賜りますよう、御案内を申し上げます。

1 趣旨

特別支援教育をめぐる最新の動向や学校等の状況を広く関係者に周知し、共有することで、インクルーシブ教育システムの構築・推進と共生社会の形成に資する。

2 日時 令和元年12月6日(金) 9時45分～15時45分

3 場所 福島県環境創造センター交流館「コミュタン福島」
(田村郡三春町深作10番2号 田村西部工業団地内)

4 主催 福島県特別支援教育センター

5 日程

9:15 9:45 10:00 11:00 11:10 11:40 12:00 13:00 13:30 14:50 15:00 15:45

受付	開 会 式	研究発表1 教育研究	休 憩	長期研究員 発表	研究発表2 調査研究	昼食 休憩	ポ ス タ ー 発 表	シンポジウム	休 憩	シンポ ジウム 総括	閉 会 式
----	-------------	---------------	--------	-------------	---------------	----------	----------------------------	--------	--------	------------------	-------------

6 参加申込み

別紙「参加申込書」により、FAXまたは電子メールでお申込みください。

申込み締切は、令和元年11月22日(金)とします。

◇ 研究発表

〈研究の趣旨〉

福島県特別支援教育センターでは、「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進し、特別支援教育の更なる充実を図るため、「新学習指導要領を踏まえた教育活動の充実」と「合理的配慮の提供」をキーワードに教育研究と調査研究に取り組んでいます。

研究を通じて、新学習指導要領に沿った特別な教育課程を基に、障がいのある子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた連続性のある学びの充実を目指していきます。また、障がいのある子どもたちが、それぞれの学びの場で合意形成を図り、個に応じた合理的配慮の提供を通して、切れ目のない支援体制の充実を目指し、共に学び、共に生きる社会の形成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

① 研究発表Ⅰ 教育研究（二年次）

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導の充実

～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～

- 研究発表 福島県特別支援教育センター 指導主事 林 裕子
- 実践報告 福島県立あぶくま支援学校 教諭 菅野 妙子
- 教諭 渡邊 智美
- 福島県立石川支援学校 教諭 田中真由美

平成29年4月、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領が改訂され、小学校、中学校に準じた改善が図られるとともに「学びの連続性を重視した対応」の1つとして、知的障がいのある児童生徒のための各教科が整理されました。本センターでは、研究協力校（研究推進モデル校2校、地区協力校5校）と協働し、新学習指導要領を踏まえ、知的障がいのある児童生徒への各教科の指導の充実を図り、児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指した実践研究に取り組んでいます。

二年次は、研究協力校と、学習指導案や授業研究会のあり方、教育課程や年間指導計画等の工夫・改善点の共有、新学習指導要領に基づいた学習状況の整理（「学びの履歴」シートの検証）などについて検討しました。新学習指導要領を踏まえ、研究協力校と共に深めた授業研究の取組の成果と課題について報告します。

なお、各校の具体的な取組については、ポスター発表で紹介します。

② 研究発表Ⅱ 調査研究（二年次）

「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査研究 ～合理的配慮の提供の充実に向けた実践研究～」

- 研究発表 福島県特別支援教育センター 指導主事 内藤 裕美

平成30年度に福島県教育委員会が実施した「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」において、小・中学校、義務教育学校の通常の学級及び高等学校における合理的配慮の提供の状況はまだ十分でないことが明らかになりました。この結果を踏まえ、二年次は、研究協力校7校と共に、合理的配慮の提供の推進に向けた取組について研究を進めてきました。「地域で共に学び、共に生きる教育」の実現に向けた、2年間の調査研究での取組の成果と課題について報告します。

なお、各校の具体的な取組については、ポスター発表で紹介します。

◇ 長期研究員発表（二年次）

- ① 「教師がつながりながら学び合う、校内の特別支援教育の充実」
～児童の困難さに気づき、必要な支援を考え合うチームとしての学校を目指して～
長期研究員 梅原 陽子（いわき市立植田小学校 所属）
- ② 「中学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級に在籍する生徒が自己実現に向かうための進路指導のあり方」
長期研究員 千葉 秀樹（川俣町立川俣中学校 所属）

◇ ポスター発表

○ 教育研究協力校7校の実践発表

研究推進モデル校：あぶくま支援学校、石川支援学校

地区協力校：大笹生支援学校、西郷支援学校、猪苗代支援学校
富岡支援学校、いわき支援学校

○ 調査研究協力校7校の実践発表

伊達市立伊達小学校、南会津町立田島第二小学校、南相馬市立鹿島小学校
郡山市立行健中学校、西郷村立川谷中学校
小野高等学校、四倉高等学校

○ 長期研究員（一年次）の研究発表

- ・ 「困難さに寄り添う通常の学級における算数科授業づくり」
～つまずきの背景をとらえた指導の工夫と個別の配慮～
長期研究員 遊佐 和江（郡山市立行徳小学校 所属）
- ・ 「特別な支援を必要とする児童に対する効果的な生徒指導のあり方」
～児童の思いや願いに視点をあてた児童理解を通して～
長期研究員 山内 裕美（小野町立小野新町小学校 所属）

※ 研究紹介（福島大学教職大学院生）

- ・ 「知的障がい特別支援教育における家庭科教育」
- ・ 「特別支援教育の推進を軸とした『チームとしての学校づくり』」
- ・ 「協働性・同僚性を発揮した教師集団による効果的・効率的な授業づくりの在り方」

◇ シンポジウム

テーマ「学校における合理的配慮の提供の充実に向けて」

コーディネーター：福島県特別支援教育センター 指導主事 渡部 和幸

シンポジスト：調査研究協力校7校 代表者

指導助言・総括：福島大学 准教授 高橋 純一 氏

県教育委員会が実施した「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の結果を基に、研究協力校として小・中学校、高等学校合わせて7校の協力をいただきながら、合理的配慮に関する実践研究を行って参りました。

実践研究を通して、合理的配慮の提供にかかる校内体制づくりについて、校種や規模に応じた有効な取組が少しずつ明らかになってきました。シンポジウムでは、研究協力校7校から有効だった取組について、合理的配慮提供のプロセスに沿って発言をいただき、合理的配慮の提供の充実に向けた取組のあり方や問題点などを討論し、特別支援教育充実に向けた取組を考えていきます。

<参加申込み方法・その他>

1 研究発表会に参加を希望する方は、次の方法で福島県特別支援教育センターに直接お申込みください。

(1) 電子メールでお申込みの場合

送付した別紙「令和元年度第34回福島県特別支援教育センター研究発表会参加申込書」（以下「参加申込書」）に必要事項を記入後、送付先メールアドレスに添付して送信してください。

【送付先メールアドレス special-center@fcs.ed.jp（送り状不要）】

おって、受理確認のメールを返信いたします。送信後3日経過しても返信がない場合は、御面倒をおかけしますが、下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

「参加申込書」は本センターWebサイト [〈https://special-center.fcs.ed.jp〉](https://special-center.fcs.ed.jp) からダウンロードできます。

(2) F A Xでお申込みの場合

「参加申込書」をF A X番号 [024-952-6599](tel:024-952-6599) まで送信してください。

送り状は不要ですが、F A X送信後に、本センターへ受理について電話で御確認ください。御面倒をおかけしますが、誤送信等のトラブル防止のため、御協力をお願いします。

2 自家用車の方は、福島県環境創造センターの駐車場が利用できます。駐車台数に限りがありますので、節車などの御協力よろしくをお願いします。

【お車でお越しの方】

磐越自動車道三春船引I C出口を左折し、国道288号線三春バイパスを進み、田村西部工業団地入口の信号を左折してください。（別紙「案内図」参照）

【鉄道でお越しの方】

J R磐越東線三春駅よりタクシーで約12分です。

3 当日の弁当を希望される方は、「参加申込書」の昼食希望欄に○を御記入ください。代金は、税込600円（飲み物なし）となりますので、当日の受付でお支払いください。

なお、申込み後の取消しはできませんので、御注意ください。

4 その他

(1) 時節柄、防寒対策について御留意ください。

(2) 手話通訳等の合理的配慮の提供を必要とする場合は、「参加申込書」に御記入の上、11月8日（金）までにお知らせください。

【お問い合わせ先】

福島県特別支援教育センター 企画事業部

電 話 024-952-6497

F A X 024-952-6599